



今回は、関市市民協働課と連携したVSプロジェクトについて報告します。

◇ 若者協働推進事業 VSプロジェクトとは何か



VS プロジェクトとは、関市の高校生が関市と自分自身に対して主体的に行動を起こしていくプロジェクトチームです。

プロジェクト名の由来は、(1)関市のV字型の地形+「SEKI」の頭文字 (2)英単語「versus」(～に対するの意味)にあります。

一人ひとりの高校生が、活動を自分ごととして捉えられることを目指して、「この先も関市と向き合って、関市で活動できる自分であるために、今自分たちにできることは何か」をテーマに活動しています。

(関市HPより)

◇ 高校生が関のまちづくりを考える ～参加した西部百香さん(2年)の感想～

VSプロジェクトは『高校生が関のまちづくりを考える』というコンセプトで活動している団体です。昨年は、「VSの知名度が低い」という問題を受け、『もっと活動をPRして、まわりの高校生を巻き込んだ活動をしていこう!』というテーマの下、活動してきました。

私が一番最初にVSプロジェクトの事を知ったのは、教室に貼ってあったVSプロジェクトメンバー募集のチラシです。その時は、VSプロジェクトのことを何も知らなかったし、まちづくりにもまったく興味がなかったのですが、とりあえず「面白そうだな」と思ったので参加してみることにしました。

実際、VSプロジェクトに参加してみて思ったことは、「なんだ、意外と関って良い所あるじゃん」ということです。

それまで私は特に地元のことが好きなわけではありませんでした(というか、むしろ嫌いでした。)田舎だし、アニメグッズを置いている店はないし、見たい映画は県外の映画館まで行かないと上映してないし、交通の便は悪いし…と悪い所はいっぱい出てくるのに、良い所はとくにこれと言って浮かぶものが無い!という状態だったからです。

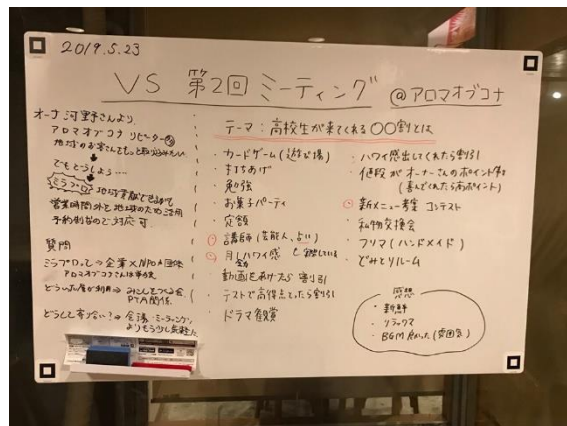
ところが、昨年度の活動を通して、関市には「素敵な喫茶店がいっぱいあること」、「名産の果物がたくさんあること」、「平成という地名があること」など、様々な関市の良い所が学べて、以前より関のことが好きになれました。また他団体との交流会(美濃加茂市の若者未来創造部、全国高校生まちづくりサミット)を通じ、それぞれの地域の特色、また他の地域に住んでいる人から見た関のよ



さなど、様々な視点から自分の住んでいる地域について見つめることができ、とても貴重な体験をすることができました。

VSプロジェクトを通じて学べたことはこれだけではありません。「ファシリテーショングラフィック」という議事録の取り方を学び、効率よく、積極的に意見を出し合えるミーティングを行うことができました。そのほかにも事業を始めるための資金を集めるために「クラウドファンディング」を利用するという方法があることやその仕組みについてなど、「高校生が知っていたらカッコいいこと」というコンセプトのもと、たくさんの方を教えていただき、学ぶことができました。

去年は人数が少なく、多くの活動ができたわけではありませんが、学んだことは本当にたくさんあるし、参加してよかったと思っています。今年度は昨年学んだことを生かして、関の魅力を積極的に発信し、さらにイベントを企画・実行し、関市の活性化に貢献していきたいと考えています。そのためにはやはり、一緒に活動してくれるメンバーの力が必要です。少しでも「面白そうだな」と思ってくれた人は、ぜひ！VSプロジェクトに参加してみてください。



写真は関ららbook(関市役所 Facebook)より